産業人クラブだより ―かけはし―

トップインタビュー

三協紙業社長（茨城産業人クラブ）
佐方　将義 氏

茨城産業人クラブの三協紙業（大阪市中央区、06・6947・0323）は、フィルムやテープの巻心に使われる紙管などの製造・販売を手がけている。東日本大震災後の2011年5月に北茨城工場（北茨城市）を稼働した。佐方将義社長に事業戦略や産業人クラブへの期待などを聞いた。

（茨城・山谷逸平）

◇

巻心の総合企業に
地場紙管協力網を構築

―茨城県には県南企業をターゲットにした土浦工場を置いています。北茨城工場を新設した理由は。

「県内の大手電機メーカー、福島県の郡山、いわきエリアなどの企業への供給を視野に入れている。紙管はかさばるため、消費地により近い場所での生産が求められる」

―どんな環境で何をつくるかが重要だと主張しています。

「1937年から一貫して紙管づくりをしてきた。しかし、グローバル化が進展し、国内市場は縮小傾向にある。食品や電子材料業界では紙粉の出る紙管離れも進んでいる。このため、クリーンルームでも使えるプラスチック管に参入し、北茨城工場で製造を始めた。また紙とプラスチックを組み合わせた紙管などの開発拠点にも位置づけている」

―供給側の再構築も必要としています。

「地場に根付いている中小・零細の紙管企業各社が連携できるネットワークの再構築が必要だ。業界には巻心の総合企業がなく、購入企業は紙管とプラスチック管ごとに発注している。当社を紙、プラスチック、他材料で管を製造できる総合巻心企業に成長させたい。各工場を紙管各社の核とし、中小・零細が協力・共存できる仕組みをつくりたい」

―短中期の事業の方向性は。

「表面が平滑な紙管を、紙管各社が製造できる環境を整えるべく、技術開発している。技術を普及し、調達企業が各社から平滑な紙管を購入できるようにする。紙管の付加価値を高め、競争力のある業界にしたい」

―茨城産業人クラブに期待していることは。

「地場の中小企業を中心に約160社・団体が加入している点に魅力を感じている。すでに数社との取引を始めた。茨城産業人クラブにはサプライチェーンが生まれるマッチング会や新製品共同発表会などの仕掛けづくりを期待したい」

さかた・まさよし　84年（昭59）名古屋大工卒、同年三菱樹脂入社。97年三協紙業入社、04年総務部長、07年社長。大阪府出身、52歳。

産業人烈伝

時代のニーズに対応
塩野製作所・塩野博万社長 ㊤

主に航空・宇宙関連部品の切削加工を手がけている。昭和飛行機工業で汎用旋盤工だった父、塩野請一が1960年に創業した。戦後、立川飛行場が米軍に接収されていた時代。父は英語が堪能だったため、米軍関係者が頻繁に訪れた。週末になると日本では売っていないウイスキーを手みやげにやってきて、自動車のエンジン部品の加工を頼まれることもあったそうだ。

米軍関係者が持ち込んだ航空機部品を、家の庭先で削りだしたのが部品加工会社としてのルーツだ。ちょうど私が産まれた時期と重なる。高度経済成長を迎えて自動車、電機などの部品も手がけるようになった。大手メーカーとの直接取引は少なかったが、墨田区、大田区の業者の依頼を受け、自然と業容を拡大した。人手が足りないため、私も駆り出された。父から「東京タワーに連れていってやる」と言われ、加工した部品を詰めたリュックサックを背負って納品したこともある。

創業から10年で手がける部品の量も増えた。大手電機メーカーの下請けとしてコンピューターの部品を大量生産するまでになった。郵便局や銀行がオンライン化に移行していた時代。最盛期には中型コンピューター用のディスクドライブのアルミカバーが月産3000台分にもなった。

当時の中小企業としては積極的に設備投資した。80年代半ばに横型マシニングセンター（MC）を導入。関東でも一番早かったのではないかと記憶している。導入した理由は、航空機向け部品加工で魅力的な仕事がたくさんあったからだ。

海外大手重工業メーカーが汎用旋盤、汎用フライスを10台ほど並べてつくる部品を、MCを用いて2工程でつくった。

「そんなはずはない」と、海外メーカーの技術者5―6人が本社に来たこともあった。結局、「確かにすごい技術だ」と感心しながら帰っていった。

その後も時代のニーズに対応し、手がける部品が変わっていった。ITバブルもあり、2000年になるまではコンピューター向けが続き、その後は携帯電話の基地局のパワーアンプ向けが主力になった。ただ、ITバブルが崩壊し、当てにしていた仕事を失った。導入したばかりの機械が稼働せず、途方に暮れたこともある。それでも何とか前向きに営業し、仕事量を確保した。

（全3回）

1976年当時の旧本社（東京都昭島市）

小さくても本物

大分　ゼロテクノ　コンクリ用混和材製販

大分産業人クラブのゼロテクノ（大分市、岡田秀敏社長、097・538・6609）は、大分大学発ベンチャー。環境負荷低減型エコマテリアルとして期待される次世代コンクリート用混和材「CfFA＝写真」を製造・販売している。トンネルや橋などのコンクリート構造物の劣化が社会問題となる中、岡田社長はCfFAの認知度を高めるために全国を飛び回っている。

CfFAは石炭火力発電施設から排出される産業廃棄物の石炭灰を再資源化した材料で、東九州自動車道などで採用されている。2010年に大分大工学部コンクリート工学研究室と共同で生産技術を確立した。

生コンクリートに混和することにより、乾燥収縮によるひび割れなどを抑えて高耐久、長寿命のコンクリートをつくれる。特にコンクリート組織を緻密化するポゾラン反応が顕著で、岡田社長は「100年以上の耐久性を期待できる」と胸を張る。

全国の優良事業者と共同出資会社を設立し、13年末に沖縄で石炭灰微粒子を粒度別に分ける装置を稼働した。14年2月に四国でも生産を始める計画だ。

現在、石炭火力発電所はフル稼働の状態で、石炭灰が増加している。再資源化ニーズが強まっているだけに、事業の成長が見込まれる。

トピックス

新潟　フチオカ　朝礼で社員の積極性養う

新潟産業人クラブのフチオカ（新潟県見附市、淵岡茂社長、0258・66・0600）は、研削砥石や研磨材、ダイヤモンド工具、設備機器などを手がけており、金属加工や石材土木の事業者に最適なツールを提案できるのが強み。このほか介護用品や防災用品などを合わせて計2万5000点もの製品を取り扱っている。淵岡社長は「現場主義で顧客の声を大切にする。グローバル経済の中、商社機能を生かして海外展開も視野に入れる」と力強い。

社員の積極性を養うため、毎日の朝礼（写真）を実践している。社訓を唱和した後、倫理法人会の「職場の教養」を輪読し、当番がその話について感想を述べる。「大きな声を出すと積極性が養われて元気が出る。また輪読や感想を述べることで、多様な状況の課題に対する思考力や実行力を高められる」と説く。

セミナーへの参加や朝礼、毎月の全体会議・経営会議などを通じた人材育成、徹底した現場主義で、08年秋のリーマン・ショック後も継続して黒字を確保している。「例えば秋田支店は岩手県の顧客も多く、11年3月の東日本大震災では約2割が被災した。しかし、設備工具の迅速な供給、支払いの先延ばしをして喜ばれた」と笑顔をみせる。

1―2月の予定

【1　月】

◇**16日（木）東京産業人クラブ**「2014年新春経済講演会＆賀詞交歓会『健康をはかるから健康をつくるへ』講師／谷田千里タニタ社長」（東京都千代田区、ホテルグランドパレス）

◇**16日（木）神奈川産業人クラブ**「2014年新年合同祈祷会」（神奈川県鎌倉市、鶴岡八幡宮）

◇**20日（月）新潟産業人クラブ**「新春講演会＆新年会『ごきげん新潟弁講座』講師／近藤丈晴BSN新潟放送アナウンサー」（新潟市中央区、新潟グランドホテル）

◇**21日（火）大阪・滋賀産業人クラブ**「新春互礼会」（大阪市北区、ANAクラウンプラザホテル大阪）

◇**23日（木）いわき産業人クラブ**「2014年講演会＆合同新年祝賀会『インド経済の現状と経営戦略について』講師／サンジーヴ　スィンハ・サンアンドサンズグループ代表」（福島県いわき市、パレスいわや）

◇**24日（金）埼玉産業人クラブ・NITEC埼玉産学交流会**「新春賀詞交歓会」（東京台東区、懐石瓢庵）

◇**27日（月）東京産業人クラブ・東京産学交流会**「2014年賀詞交歓会＆新春講演会『江戸っ子1号プロジェクト成功の軌跡』講師／杉野行雄杉野ゴム化学工業所社長」（東京都大田区、大森東急イン）

◇**28日（火）神奈川産業人クラブ**「賀詞交歓会＆特別講演会『2014年神奈川産業の展望（仮題）』講師／黒岩祐治神奈川県知事」（横浜市西区、横浜ベイシェラトンホテル＆タワーズ）

◇**28日（火）中国四国産業人クラブ**「2014年交流会＆記念講演会『どこで何に気がつくか～ビジネス発見と成長の秘訣～』講師／福田幸雄アスカネット代表取締役CEO」（広島市中区、リーガロイヤルホテル広島）

◇**30日（木）名古屋産業人クラブ**「2014年新年賀詞交歓会＆経済講演会『中部地域の産業の展望と課題（仮題）』講師／山本雅史中部経済産業局長」（名古屋市中村区、名古屋マリオットアソシアホテル）

◇**30日（木）掛川産業人クラブ**「愛知産業視察会」（中日クラフト、トヨタテクノミュージアム産業技術記念館）

【2　月】

◇**3日（月）茨城産業人クラブ**「新春経済講演会＆賀詞交歓会『ベトナムでのビジネスチャンスについて』講師／窪田光純ベトナム経済研究所所長」（水戸市、水戸京成ホテル）

◇**5日（水）宮城・福島・山形・いわき産業人クラブ**「キャンパスベンチャーグランプリ東北表彰式＆記念パーティー」（仙台市青葉区、ホテルメトロポリタン仙台）

◇**5日（水）宮城産業人クラブ**「2014年新春講演会＆交流会『東北経済の発展に向けて（仮題）』講師／守本憲弘東北経済産業局長」（仙台市青葉区、ホテルメトロポリタン仙台）

◇**6日（木）千葉産業人クラブ**「新春経済講演会＆賀詞交歓会『2014年の経済展望（仮題）』講師／佐久間英利千葉銀行頭取」（千葉市中央区、三井ガーデンホテル千葉）

◇**7日（金）東京産業人クラブ女性部会**「2月例会『パブリック・マインド』講師／河北博文河北総合病院理事長」（東京都千代田区、KKRホテル東京）

◇**12日（水）埼玉産業人クラブ**「分科会『次世代企業連携の姿―世界に羽ばたく、さいたまモデル』講師／さいたま市産業創造財団佐々木哲也氏」（さいたま市浦和区、日刊工業新聞社さいたま総局）

◇**13日（木）栃木産業人クラブ**「賀詞交歓会＆特別講演会『子育て支援からみたニュービジネスの課題（仮題）』講師／大塚雅斗キッズコーポレーション社長」（宇都宮市、ホテル東日本宇都宮）

◇**13日（木）岐阜産業人クラブ**「2014年新春経済講演会＆懇親会『地球規模でニーズを獲得』講師／石川則男OSG社長」（岐阜市、岐阜グランドホテル）

◇**14日（金）埼玉産業人クラブ**「新春賀詞交歓会＆50周年の集い」（さいたま市浦和区、浦和ロイヤルパインズホテル）

◇**19日（水）長野産業人クラブ**「2014年新春講演会＆賀詞交歓会『オンリーワン経営を目指して』講師／後藤勇日進工具会長」（長野市県町、ホテル国際21）

◇**19日（水）―21日（金）大阪・名古屋・中国四国産業人クラブ**「台湾産業視察」

◇**26日（水）滋賀産業人クラブ**「2月交流会『滋賀ラウンド・テーブル』」（滋賀県草津市、ホテルボストンプラザ草津）

ファソテック相談役（千葉産業人クラブ会員）
長見　茂 氏

「新しいグランドシニアを目指そう!」出版
人生はすべて〝日々是好日〟

45歳で起業、74歳で日本大学生産工学部の社会人ドクターコースに、105日間の世界一周の船旅…、挑戦を続けている千葉産業人クラブ会員のファソテックの長見茂相談役。世界遺産の楽しみ方や経営者の姿勢をまとめた「新しいグランドシニアを目指そう!」を出版した。本に込めた思いなどを聞いた。

（千葉・山田諒）

■□■

―本で伝えたいことは。

「少子高齢化と長寿化により、高年齢者が定年後に過ごす時間が延びている。セカンドライフをどう充実させるかを考えることが、残りの人生を楽しむために必須だ。第1部では会社経営から完全に退いた後の体験を紹介した。人生を楽しむことの大切さを感じてもらえたらうれしい。第2部では次代の経営を担う人材に対し、社長を経験したグランドシニアの責務として経営者のあり方を説いた」

―船旅では多くの世界遺産を訪問しました。

「技術者として生きてきた身として、遺産がどれほどの時間がかけられてつくられ、どう修復されたかといった過程に興味があった。こうした視点で書かれた遺産紹介本はないと思う。定年が迫った技術者らが余生を楽しむための参考になれば著者冥利につきる。過程に目を向けることにより、長期的な視点での思考を育てられる。会社経営にも役立つことを伝えたい」

―人生を楽しむためには何が求められますか。

「目標を定め、それを達成することだ。言い換えれば〝成功した自分の姿〟を絶えずイメージすること。期間は短くていいし、大それた目標でなくていい。他人と比べる必要もない。設定しやすいように、第2部でピラミッドを紹介した。人生を楽しんでほしい」

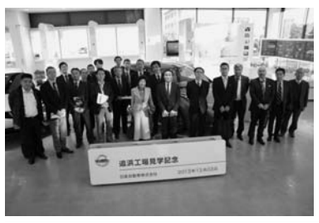
（日刊工業新聞社刊）

キリンビール横浜・日産追浜工場を見学
東京産学交流会

東京産業人クラブ・東京産学交流会（渡辺佳英会長＝大崎電気工業会長）は12月3日、12月定例会「キリンビール横浜工場＆日産追浜工場見学会」を実施した。企業の技術者や経営者ら約30人が参加した。

まずキリンビールの横浜工場（横浜市鶴見区）を訪問し、ビールの仕込みや発酵などの製造工程について学習後、できたてのビールを楽しんだ。

一方、日産自動車の追浜工場（神奈川県横須賀市、写真）では赤や青などの色とりどりのボディーの下側から部品を組み付ける流れ作業、電気自動車（EV）「リーフ」の車体に電池が取り付けられる様子を見学した。ローラー上を時速100キロで走らせる走行実験では驚きの声があがった。



見学後の質疑応答では「年間の生産台数はどのぐらいか」「すべての工程で何時間かかるのか」「地震が起きた際には工場ラインは自動で止まるのか」といった質問が次々と飛び出した。普段は入れない現場に興味が尽きない様子だった。

親睦ゴルフ大会
青木氏が優勝
神奈川産業人クラブ

神奈川産業人クラブ（三木治一会長＝三木プーリ社長）は12月4日、湘南カントリークラブ（神奈川県茅ケ崎市）で第26回親睦ゴルフ大会を開いた。絶好のコンディションの中、会員ら11人が熱戦を繰り広げた結果、ニックスの青木伸一会長（写真左）がネット72・2、グロス89で優勝し、三木会長（同右）が副賞として安倍晋三首相がオバマ米大統領に贈った「山田パター」（三木プーリ寄贈）を贈った。青木氏はドラコン賞も獲得し、「久しぶりの参加だったが優勝できてよかった。すばらしいパターもいただいたので、少しゴルフに専念し、2014年も優勝を狙いたい」と謝辞を述べた。

2位は三木会長で、「天候に恵まれて楽しくゴルフできた」と振り返った。3位は斉藤武夫氏（元藤栄電機社長）で、グロス87のベストグロス賞、ドラコン賞を獲得した。

天田前会長の慰労会を開く

神奈川産業人クラブは11月19日、横浜ベイシェラトンホテル＆タワーズ（横浜市西区）で、天田満明前会長（アマダ相談役、写真右）の慰労会を開いた。天田前会長は2001―12年度に会長を務めた。天田前会長は三木会長（同左）に「（会社を経営している）現役の人がやるので、元気と活気ある産業人クラブになる」とエール。一方、三木会長は「天田前会長には長年お世話になっており、産業人クラブ会長を頼まれては断るなんてとんでもなかった。力不足だが、皆さんと何とか盛り上げたい」と応えた。

広実九州経産局長が講演
九州・山口産業人クラブが忘年の会

九州・山口産業人クラブ（花田寛会長＝キューヘン社長）は12月9日、博多エクセルホテル東急（福岡市博多区）で「講演と忘年の会」を開いた。広実郁郎九州経済産業局長（写真）が「経済産業政策の展望と九州」と題して国の日本再興戦略や経済対策パッケージについて概説し、「好調な自動車産業の一本足打法ではなく、環境エネルギーや農業、ヘルスケアなどの新産業をつくる必要がある」と、経営者ら参加者約30人に訴えた。

忘年の宴では花田会長が「2013年はアベノミクスや東京五輪開催決定、当クラブの30周年など明るい話題があった。14年は引き続き復活の年になってほしい」とあいさつ。井上信之副会長（正興電機製作所相談役）が「株価や為替など良い経済環境になりつつある。14年は成果を出そう。クラブも異業種交流を活性化しよう」と呼びかけた。

アクセス解析セミ
亀井氏ら研究発表
大阪産業人クラブ

大阪産業人クラブは12月5日、効果的なウェブ戦略策定のための「アクセス解析セミナー」（日本BtoB広告協会、ウェブ解析士協会共催）を、日刊工業新聞社大阪支社（大阪市中央区）で開催した（写真）。解析士協会の江尻俊章理事による「良いコンテンツとは」に続き、ウェブ解析士マスターの亀井耕二氏らが研究発表。また参加者の企業のウェブ戦略を解析し、改善点を解析士が提案した。参加者も提案するなど活発に議論した。

参加者からは「身近な事例が多く分かりやすかった」といった声があった。一方、講師の亀井氏は「講師がしゃべる一方通行ではなく、参加型セミナーの方が勉強になる」と強調した。

久須美酒造社長招き
社長会と忘年会開く
新潟産業人クラブ

新潟産業人クラブ（佐藤金治郎会長＝佐文工業所常務）は12月6日、国登録有形文化財の宿、嵐渓荘（新潟県三条市）で「社長会と忘年会」（写真）を開いた。「夏子物語」や「亀の翁」の銘柄が人気の久須美酒造（長岡市）の久須美賢和社長をゲストに招いた。久須美社長は「日本酒の楽しみ方や知識」をテーマに利き酒の感想や意見をやりとりしつつ、日本酒の長所を披露した。18人が参加した。

嵐渓荘は山里の渓流沿いにある木造3階建ての秘湯の宿で、四季折々の自然を満喫できる。宴会は地元のおいしい料理と酒で会話が弾んだ。